平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名　ニチモウ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8091　URL　http://www.nichimo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小池　由紀夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長　(氏名) 八下田　良知　TEL 03-3458-3530

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	50,756	3.0	151	△80.9	△31	―	△69	―
25年3月期第2四半期	49,238	8.0	797	111.4	789	103.5	647	137.7

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　117百万円　(△40.9%)　25年3月期第2四半期　199百万円　(34.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△2.05	―
25年3月期第2四半期	19.02	18.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	63,846	14,095	21.4
25年3月期	57,829	14,137	23.5

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　13,637百万円　25年3月期　13,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	5.00	5.00
26年3月期	―	―			
26年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	1.0	1,400	73.1	800	3.1	500	△31.4	14.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	37,874,000 株	25年3月期	37,874,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,807,557 株	25年3月期	3,806,442 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	34,067,047 株	25年3月期2Q	34,011,720 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・２

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・３

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・４

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・４
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・４
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・４
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・７
　四半期連結損益計算書
　　第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・７
　四半期連結包括利益計算書
　　第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・９
(4)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
(5)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・12
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・12

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策等により、円安・株高が進み輸出や個人消費は緩やかに回復傾向にあるものの、欧州債務問題や新興国での成長鈍化による海外経済の下振れ懸念が未だ払拭できないなど、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましては、円安進行による原料価格の上昇に加え、経済政策効果が実体経済に波及するまでに至らず、消費者の節約志向や低価格志向が定着するなど、引き続き大変厳しい環境下にありました。

こうした情勢のもとで、当社グループは、中期経営計画「第128期３ヵ年経営計画」の初年度として、当社グループならではの組織力を生かした柔軟な営業展開に努めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は507億56百万円（前年同期比15億18百万円の増加）、営業利益は１億51百万円（前年同期比６億45百万円の減少）、経常損失は31百万円（前年同期は経常利益７億89百万円）、四半期純損失は69百万円（前年同期は四半期純利益６億47百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①食品事業

すり身部門では、本年２月から海外子会社を連結に加えたことなどにより、売上は増加いたしましたが、国内外を問わず販売価格の低迷が大きく影響し、営業利益は減少いたしました。鮮凍水産物部門では、カニは円安の影響から原料価格が上昇するなか早期販売に徹し、北方凍魚は海外からの養殖銀ザケの搬入減で国内市況が好転し、他の魚種の販売も堅調に推移いたしました結果、それぞれ売上、営業利益ともに増加いたしました。一方、助子では原料価格は前年度並みとなりましたが、市況の低迷により末端製品価格の値上げが浸透せず、売上、営業利益ともに減少いたしました。加工食品部門では、国内での養殖銀ザケの市況が好転し、売上は増加いたしましたが、ツナにおいて円安の影響と原料価格の高騰による製品コスト上昇分を販売価格に転嫁できず、営業利益は減少いたしました。

この結果、売上高は318億73百万円（前年同期比26億58百万円の増加）セグメント利益は１億23百万円（前年同期比１億12百万円の減少）となりました。

②海洋事業

漁網・漁具資材部門および船舶・機械部門では、まき網用漁具資材や漁船の新船建造の受注の増加などがありましたものの、前年までの復興関連需要が一巡した影響を受け、売上、営業利益ともに減少いたしました。養殖部門でも、海苔養殖向け大型乾燥機の受注や餌料関係商材の販売が減少いたしました結果、売上、営業利益ともに減少いたしました。

この結果、売上高は84億87百万円（前年同期比８億57百万円の減少）セグメント利益は４億27百万円（前年同期比２億93百万円の減少）となりました。

③機械事業

機械事業では、国内において練り製品業界・惣菜加工業界および水産加工業界向け製造プラント、海外において米国向け中華・豆腐関連機器など幅広い受注がありましたが、前年好調の新工場向け大型案件受注が減少いたしました結果、売上、営業利益ともに減少いたしました。

この結果、売上高は38億11百万円（前年同期比５億19百万円の減少）セグメント利益は87百万円（前年同期比１億50百万円の減少）となりました。

④資材事業

合成樹脂部門では、国内での建材用加工品の販売が減少した影響により、売上は減少いたしましたが、住宅部材用シートや印刷用フィルムの販売が堅調に推移し、営業利益は増加いたしました。環境資材部門では、包装資材の販売は低調に推移いたしましたものの、衛生関連商材などの拡販に努めました結果、売上、営業利益ともに前年度並みとなりました。

この結果、売上高は52億４百万円（前年同期比１億54百万円の減少）セグメント利益は１億72百万円（前年同期比21百万円の増加）となりました。

⑤バイオティックス事業

バイオティックス事業では、大手健康食品メーカー向けに不妊治療に有効とされる素材「アグリマックス」の供給、薬局向けＰＢ製品の販売が堅調に推移いたしました結果、売上高は１億31百万円（前年同期比５百万円の増加）セグメント利益は５百万円（前年同期比３百万円の増加）となりました。

⑥物流事業

物流事業では、九州地区における食品を中心とした運送業を展開し、より一層の事業の選択と集中を推し進めてまいりましたが、主力である宮田ＤＣの採算が大幅に悪化し、売上高は11億79百万円（前年同期比３億79百万円の増加）セグメント損失は１億72百万円（前年同期比１億３百万円の損失の増加）となりました。

⑦その他

その他といたしましては、不動産の賃貸、生命保険および損害保険の代理業を行っており、売上高は68百万円（前年同期比５百万円の増加）セグメント利益は43百万円（前年同期比７百万円の増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は638億46百万円（前連結会計年度比10.4％増）となりました。

総資産の増加は、主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

（総負債）

当第２四半期連結会計期間末における総負債は497億51百万円（前連結会計年度比13.8％増）となりました。

総負債の増加は、主として短期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は140億95百万円（前連結会計年度比0.2％減）となりました。

純資産の減少は、主として利益剰余金および少数株主持分の減少によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、38億58百万円（前連結会計年度末比17億43百万円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の32億84百万円の増加、たな卸資産の30億20百万円の増加などにより65億49百万円のマイナス（前年同四半期は72億32百万円のマイナス）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出３億75百万円及び短期貸付金の純増額１億１百万円などにより３億23百万円のマイナス（前年同四半期は40百万円のプラス）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額48億70百万円、長期借入れによる収入11億円及び長期借入金の返済による支出５億83百万円などにより52億１百万円のプラス（前年同四半期は82億28百万円のプラス）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年３月期の業績予想につきましては、前回公表（平成25年５月10日）いたしました連結予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,876	4,277
受取手形及び売掛金	14,548	17,848
商品及び製品	15,074	17,403
仕掛品	536	718
原材料及び貯蔵品	2,279	2,777
前渡金	995	1,852
繰延税金資産	21	22
その他	430	617
貸倒引当金	△125	△123
流動資産合計	39,638	45,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,703	6,742
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,982	△5,055
建物及び構築物（純額）	1,720	1,686
機械装置及び運搬具	4,730	4,855
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,545	△3,690
機械装置及び運搬具（純額）	1,185	1,164
船舶	4,047	3,986
減価償却累計額及び減損損失累計額	△876	△924
船舶（純額）	3,170	3,061
工具、器具及び備品	678	695
減価償却累計額及び減損損失累計額	△540	△558
工具、器具及び備品（純額）	138	136
土地	2,246	2,172
建設仮勘定	279	356
有形固定資産合計	8,741	8,578
無形固定資産		
のれん	1,169	1,048
その他	477	478
無形固定資産合計	1,646	1,527
投資その他の資産		
投資有価証券	6,160	7,041
長期貸付金	149	170
破産更生債権等	1,460	1,441
長期預金	300	100
繰延税金資産	214	218
その他	952	800
貸倒引当金	△1,459	△1,444
投資損失引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	7,764	8,314
固定資産合計	18,153	18,421
繰延資産		
社債発行費	37	32
繰延資産合計	37	32
資産合計	57,829	63,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,013	11,220
短期借入金	17,985	22,768
1年内返済予定の長期借入金	2,110	2,637
未払法人税等	397	407
繰延税金負債	18	3
賞与引当金	398	367
事業構造改善引当金	143	143
その他	1,620	1,983
流動負債合計	33,687	39,531
固定負債		
社債	3,500	3,500
長期借入金	5,154	5,146
長期未払金	61	61
繰延税金負債	412	596
退職給付引当金	520	537
役員退職慰労引当金	131	125
負ののれん	29	7
その他	194	243
固定負債合計	10,004	10,219
負債合計	43,691	49,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
資本剰余金	22	22
利益剰余金	10,346	10,106
自己株式	△1,080	△1,080
株主資本合計	13,699	13,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	1,069
繰延ヘッジ損益	29	5
為替換算調整勘定	△867	△897
その他の包括利益累計額合計	△111	178
新株予約権	44	55
少数株主持分	505	403
純資産合計	14,137	14,095
負債純資産合計	57,829	63,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
売上高	49,238	50,756
売上原価	44,937	46,272
売上総利益	4,300	4,484
販売費及び一般管理費	3,503	4,332
営業利益	797	151
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	58	53
持分法による投資利益	147	171
貸倒引当金戻入額	1	－
その他	103	92
営業外収益合計	319	324
営業外費用		
支払利息	278	299
為替差損	1	170
その他	47	38
営業外費用合計	327	508
経常利益又は経常損失（△）	789	△31
特別利益		
固定資産売却益	－	2
土地売却益	11	－
関係会社株式売却益	4	－
補助金収入	40	－
受取保険金	65	－
特別利益合計	122	2
特別損失		
固定資産除却損	2	3
投資有価証券評価損	96	－
ゴルフ会員権評価損	5	－
損害賠償金	68	－
特別損失合計	172	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	738	△32
法人税、住民税及び事業税	100	117
法人税等調整額	△8	△5
法人税等合計	91	111
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	647	△144
少数株主利益又は少数株主損失（△）	0	△74
四半期純利益又は四半期純損失（△）	647	△69

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	647	△144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△364	327
繰延ヘッジ損益	△21	△24
為替換算調整勘定	△50	△57
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	16
その他の包括利益合計	△447	262
四半期包括利益	199	117
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	199	220
少数株主に係る四半期包括利益	0	△102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	738	△32
減価償却費	253	345
のれん償却額	1	56
負ののれん償却額	△21	△21
繰延資産償却額	7	5
賞与引当金の増減額（△は減少）	△41	△33
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△20	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	38	11
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△67	△20
受取利息及び受取配当金	△66	△61
持分法適用会社からの配当金の受取額	9	9
支払利息	278	299
持分法による投資損益（△は益）	△147	△171
関係会社株式売却損益（△は益）	△4	－
投資有価証券評価損益（△は益）	96	－
ゴルフ会員権評価損	5	－
有形固定資産売却損益（△は益）	△11	△2
有形固定資産除却損	2	3
受取保険金	△65	－
補助金収入	△40	－
損害賠償損失	68	－
売上債権の増減額（△は増加）	△3,865	△3,284
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5,662	△3,020
前渡金の増減額（△は増加）	△750	△848
前受金の増減額（△は減少）	558	607
仕入債務の増減額（△は減少）	1,831	207
割引手形の増減額（△は減少）	71	36
その他	△173	△311
小計	△6,978	△6,223
利息及び配当金の受取額	68	61
利息の支払額	△290	△299
保険金の受取額	65	－
補助金の受取額	40	－
損害賠償金の支払額	△68	－
法人税等の支払額	△69	△87
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,232	△6,549

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13	△12
定期預金の払戻による収入	56	75
有形及び無形固定資産の取得による支出	△105	△375
有形及び無形固定資産の売却による収入	42	4
投資有価証券の取得による支出	△4	△97
投資有価証券の売却による収入	5	－
子会社株式の取得による支出	－	△3
短期貸付金の純増減額（△は増加）	2	△101
長期貸付けによる支出	△2	△32
長期貸付金の回収による収入	67	7
その他	△7	211
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	△323
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	6,693	4,870
長期借入れによる収入	2,409	1,100
長期借入金の返済による支出	△626	△583
社債の償還による支出	△62	－
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△169	△169
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△16	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,228	5,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△70
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,024	△1,743
現金及び現金同等物の期首残高	2,811	5,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,835	3,858

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	29,214	9,345	4,330	5,358	126	799	49,175	62	49,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	58	279	56	127	－	－	522	－	522
計	29,272	9,625	4,387	5,486	126	799	49,697	62	49,760
セグメント利益又は損失（△）	235	721	237	150	2	△69	1,279	36	1,315

（注） 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

２ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	1,279
「その他」の区分の利益	36
全社費用(注)	△518
四半期連結損益計算書の営業利益	797

（注） 全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	31,873	8,487	3,811	5,204	131	1,179	50,687	68	50,756
セグメント間の内部売上高又は振替高	100	476	25	128	－	－	731	－	731
計	31,973	8,964	3,836	5,333	131	1,179	51,419	68	51,487
セグメント利益又は損失（△）	123	427	87	172	5	△172	644	43	688

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	644
「その他」の区分の利益	43
全社費用(注)	△536
四半期連結損益計算書の営業利益	151

（注）全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。